

介護プロフェッショナル

キャリア段位認定の取り組み

「キャリア段位制度」は、成長分野における新しい職業能力を評価する仕組みであり、企業や事業所ごとにバラバラでない共通のものさしをつくり、これに基づいて人材育成を目指しています。

●キャリア段位認定を法人内ではマイスター制度手当として支給しています

マイスター制度は、「目の前にいるご利用者を幸せにしたい」という想いから、ケアの質向上をめざし、介護の正確な技術を習得している職員を評価するもので、その評価基準としてキャリア段位制度を用い、報酬にも紐づけています。時給制職員には、「マイスター手当」として、時間あたり50円～130円(段位による)を手当として月次給与で支給し、月給制の職員には、コンピテンシーポイントに加算。昇給制度に反映させています。また一番労力を使うアセッサーもきちんと評価していて、段位取得者を輩出した職員には一時金としてアセッサー手当を支給しています。

●キャリア段位取得者とアセッサーは事例発表会で表彰しています

段位取得者とそのアセッサーは、年に一回法人で開催している事例研究発表会の場で、四大表彰制度の一つ「マイスター大賞」と称し、全事業部からたくさんの職員が集まる前で表彰されます。副賞としてアセッサーと段位取得者には、法人独自で作成した職員証ストラップを授与。段位取得を処遇に反映させるだけではなく、介護のスペシャリストとして周囲から評価を得ることで、プレゼンスを高め、自己実現の支援にもつなげています。

キャリア段位制度 レベル認定★★★★

キャリア段位制度 アセッサー

介護スペシャリストの証！



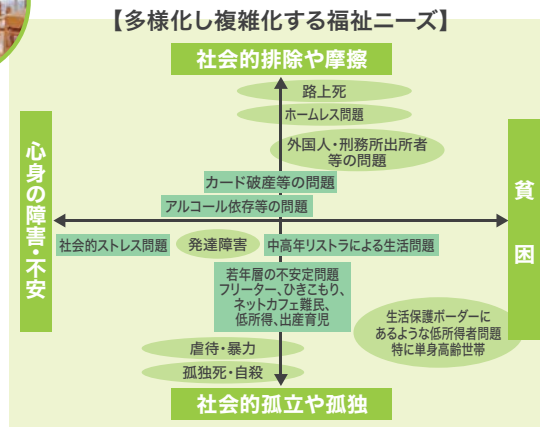
地域貢献活動 コミュニティカフェ



現在我が国では、ひきこもり、孤独死、社会的孤立、ゴミ屋敷、DV、育児困難、ネグレクト、失業後の再就職困難など社会生活上の困難を有する人々は増加傾向にあり、多様化し複雑化していく新たな福祉ニーズには制度化されたサービスだけでは対応しきれていない状況です。

これら行政や地域福祉の対応できない多様な福祉ニーズに応えるため、また制度の狭間で孤立する子供や障害者、生活困窮者等をも包摂する地域のセーフティネットとして、奉優会ではコミュニティカフェを運営しています。

私たちが地域貢献活動として取り組んでいるコミュニティカフェでは、年齢性別を問わず誰でも参加できる多種多様なイベントや低価格で美味しい食事、認知症カフェ(オレンジサロン)等を開催しています。これらによって、地域の方の社会参加の場所や機会をつくり、新しい地域福祉の好循環を創造しています。次号より「コミュニティカフェの運営」の実践について具体的事例をご報告いたします。



※第2回社会福祉法人の在り方に関する検討会 資料より抜粋

法人最新情報

■ 優っくりグループホーム杉並沓掛 2月オープン！



以前より荻窪地域の方々から切望されていたグループホームが、2月1日遂にオープンしました。土地・建物ともに当法人が所有しており、隣には特別養護老人ホームが開設しています。柔軟で幅の広いサービスが期待されています。

〈事業概要〉
認知症対応型グループホーム18室
〈賃料〉
・家賃71,000円/月・共益費18,000円/月
〈連絡先〉
〒167-0031 東京都杉並区本天沼3-34-29
TEL:03-6913-6021 FAX:03-3395-0970
http://yukkuri-kutsukake.foryou.or.jp/



2月に開所しました優っくりグループホーム杉並沓掛の能登谷です。穏やかでゆったりとした生活を送って頂けるグループホームとなる様職員みんなで頑張ります！

能登谷 和輝 管理者

■ 2016年度新卒内定式と懇親会が開催されました。

平成27年12月18日(木)、平成28年4月入職予定の内定者に、今年度EPA職員としてインドネシア・ベトナム10名を含んだ47名が参加し、2016年度内定式が開催されました。その後、フォーユーカフェにて昼食をとり、奉優の家、淡路デイ、淡路ショート、目黒区高齢者センターを見学。恵比寿イーストギャラリーにて、先輩職員たちと懇親を深めました。



編集後記

七転八倒してようやく創刊することが出来ました。まだまだボリュームは少ないですが、少しずつ読みごたえのあるものにバージョンアップしていきたいと考えています。最後に、編集委員、執筆者の皆さん、その他今回ご協力いただいた皆様、本当に感謝です。ありがとうございました。編集委員より



奉優会HP

フォーユー新聞 2016 February 創刊号 2016 2月21日 発行

社会福祉法人 奉優会(ほうゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢2丁目11番3号 TEL:03-5712-3770 FAX:03-5712-3771 http://www.foryou.or.jp/



地域の潜在的な力から「地域福祉の好循環」を

この度の国会で、福祉サービスの供給体制の整備および充実を図るため、社会福祉法人改革を柱とした社会福祉法改正案が成立します。私たち社会福祉法人が有する潜在力を地域福祉や社会福祉の向上のために最大限活用するための法改正であり、地方の現場を担う地方公共団体と社会福祉法人が一体となって、社会福祉制度の基盤を新たに構築していくことが期待されています。

この大きな変革に合わせて奉優会の広報誌もリニューアルし、私たちの活動も「高齢者福祉の活動」から「地域における公益的な活動」に大きくシフトしていく姿をお伝えしていかなければなりません。

社会福祉法人奉優会と株式会社やさしい手グループは、昭和39年に私が創業した看護婦家政婦紹介所大橋サービスを母体としています。設立当時から女性の社会的評価の低さや主婦が担ってきた

地域福祉の構造的な問題は顕在化しており、今日までその狭間にいる女性たちと一緒に真正面から問題に取り組みながらグループを成長させてまいりました。

現政府の政策である「誰もが家庭で、職場で、地域で活躍できる一億総活躍社会の実現」は正に私のライフワークであり、私たち社会福祉法人奉優会の活躍が期待される政策だと前向きに受け止めております。

喫緊の重要課題には「夢をつむぐ子育て支援」、「介護離職ゼロ」に向けての環境整備をはじめ、「無料又は低額な福祉サービスの提供」などがあります。

私たち奉優会は、これからも地域から期待される役割を果たすため、地域の潜在的な力「地域福祉の好循環」の風を起こし、「地域総活躍社会」の実現に向けて積極的な取り組みを進めてまいりますので、是非ご期待ください。

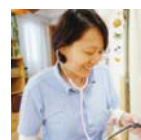
奉優会の

取り組み

医療度の高い方の在宅生活を支えたい

～優っくりデイ喜多見の挑戦～

平成23年12月にオープンした優っくりデイ喜多見は、12人定員の認知症対応型デイサービスです。このデイサービスの平均要介護は4。これは特養並みの平均要介護度です。なぜこれだけ平均要介護度が高いのか。それは、優っくりデイ喜多見が医療度の高い方を積極的に受け入れるデイサービスだからです。また、優っくりデイ喜多見では医療処置が必要な方でも、お花見やミカン狩りなどの活動と一緒に参加することができます。優っくりデイ喜多見では喀痰吸引等事業者登録をしており、それらは事業所責任者である看護師の遠藤所長の想いが込められています。



遠藤 美穂 所長

病院にて勤務していたとき、社会的入院を余儀なくされ大変な思いをされている方々をたくさん見て、この方たちを受け入れることができるデイサービスがあれば…とずっと考えていました。その後一般デイに勤務し、医療ニーズの高い方を受け入れることはできたのですが、プログラムやイベントに参加していただくことが難しく、申し訳ない想いを抱えていました。できるだけ幅広い方にご利用いただき、かつみんなでお花見やお散歩をしたい。そんな想いがあり、どんな方でも利用でき活動に参加できるデイサービスをめざし、実現に向けて頑張っています。

【優っくりデイ喜多見の医療ケア受け入れ実績】

●開設当初(平成25年2月)

たんの吸引	胃瘻
3件	3件

現在では、医療ケアの必要方々の受け入れ実績が多くなり、ご利用者からの満足の声を多くいただいている優っくりデイ喜多見ですが、そのノウハウを次回からシリーズでご紹介していきます。

●平成27年12月時点 受け入れ実績

たんの吸引	胃瘻	インスリン注射	人工肛門	在宅酸素
7件	8件	1件	1件	1件





より良い地域福祉をめざして。

私たちは地域の方々が安心して住み続けられるよう、さまざまな工夫を続けています。その中で、各事業所の実施している活動の様子を事例でご紹介いたします。

地域包括ケア～地域包括支援センター～ 白金の森の取り組み

■ 地域住民の方々と協力して 「顔の見える住民懇談会」を発足！

地域包括支援センターが行う「高齢者の何でも相談窓口」には日々、色んな困りごとが持ち込まれます。解決のために様々な制度・サービスを紹介しますが、利用制限なども多く、全てをカバーすることは到底できません。「切れた電球を替えられない」「お米や牛乳など重たいものだけ買い物が負担」。公的支援までは必要ないけれど、ちょっとしたお手伝いがあればカバーできることも沢山あります。公的支援の限界を感じていた私達は、町の電気屋さん、配達可能な商店など、暮らしの中の便利情報や、地域の協力者の情報を集めることにしました。そういった情報をどのように集めるか…。やはり、そこに暮らす人たちに教えてもらうのが一番です。高輪地区の中でも最も地縁が残り、地域住民が集えるサロン「みつ蛭」がオープンした「白金5、6丁目」にスポットをあて、住民の方々と懇談会を開くことにしました。

私が
ご報告
します！

東京都港区

高輪地区高齢者相談センター
(地域包括支援センター白金の森)

築田 晴



取り組み1

地域住民と「住民懇談会」を開催

「顔の見える住民懇談会」と銘打って、和菓子屋のAさん、サロンで体操を教えるBさん、など本気で地域のことを考える住民の方々と、社会福祉協議会や警察防犯アドバイザーなどの関係者も交えて開催しました。第1回から話題は拡がり、情報収集に留まらず活発に意見やアイデアが飛び出しました。



地域のことを考え、みんなで話し合いました



活発な
意見交換



取り組み2

ぶらり「地元めぐりツアー」を開催

「地域密着の商店会は、ふれあいもあり協力的。地縁の薄い高齢者にぜひ知ってもらいたい」との声から、お一人住まいの高齢者をお誘いして開催しました。当日の準備運動、ツアーガイドなど、住民の方が担って下さいました。ツアーの最後はサロンみつ蛭でティータイム。後日、参加者が商店に買い物にきたり、地元のお祭りやサロンに顔を出したりと、ご縁は繋がりました。



商店主と会話しながら商店街をめぐりました



住民懇談会をやってみて

懇談会での振り返りでは、「ここに住んで良かったと思ってほしい」「困ったことがあれば、あそこのおじさんに聞いてみよう、と思い出してほしい」など温かいご意見をいただきました。こうして懇談会が定着しメンバーとの関係深まる中、「〇〇さんちのお婆ちゃんが心配」など気になる情報を下さったり、また逆に「灯油を運んでくれるお店はありませんか？」など、相談センターから相談することも増え、住民の協力者とのパイプが強まりました。

【懇談会参加者の声】

参加者の皆さんの顔は以前から知っていたけれど、懇談会を通して「人と成り」がわかり、身近な存在になりました。困ったことがあれば「それなら〇〇さんに頼んであげるよ」など、繋げてくれる、そういう繋がりが大事なんだと思います。近隣を気にかけ、「何かできることがあれば」と行動する人のところには、相談や情報が入ってくる。今後、懇談会のメンバーを拡げ、地域の福祉力を高めていけたらいいな、と思います。



「懇談会に参加して良かった！」と話す
山岸洋子さん

認知症対応～認知症はこわくない！～

■ 夫婦の絆を取り戻せ！安心のつくりかた

当時、認知症について理解が難しかったご主人は、妻のZ様を叱ってばかりいました。しかし、ご本人はわかっていない様子で、昨日買った食材をまた買ってきたりと同じことを繰り返す毎日。「なんで、こんなことになったのか。」とご主人は、後悔ばかりでした。

しかし、地域密着型サービスである小規模多機能型居宅介護施設を利用しはじめると、「毎日顔なじみの職員が自宅へ来てくれて妻だけでなく僕の話も聞いてくれる。」「職員に悩みを相談し、症状について相談をしていく内に認知症についてわかってきたように

思う。」と今までは、症状が原因の行動について受け入れられなかったご主人が、介護サービスの利用と職員への相談を通して、Z様の認知症を理解され、受け入れることができました。

ご家族の認知症への理解の深さがご本人との関係を良好にします。

その後は、Z様から「利用をはじめてから、安心感がとてもある。」とお声が聞かれ、笑顔が増えていく様子。認知症の症状は、ご家族にとって受入れが難しく「奇妙で不可解なもの」と受け取られることは少なくありません。

このように悩みをひとりで抱えずに、課題に対応した介護サービスの利用や地域の相談窓口、認知症家族の会などを利用して、症状を理解し、受け入れること、受け入れてもらうことが、ご家族と認知症の方との間に安心をつくる秘訣です。



私が
ご報告
します！



東京都世田谷区

優つくり小規模多機能介護喜多見

看護職 星 美恵

症状の気づき～サービス利用まで

（予兆）

高価な宝石や洋服など買いあさり、自宅は荷物であふれていた。預金が1年で底をつき、何に使ったか聞いても答えられない。

（気づき）

下着姿で自宅のまわりを歩いていたと隣家の方が包括支援センターへ相談。ご主人から注意したが、行動はエスカレートしていく。

（相談）

包括支援センターより、地域の認知症専門外来を勧められる。認知症と診断されたが、ご主人は理解できず妻を叱り続ける。

（サービス利用）

認知症の進行に伴いサービスを検討、「訪問」「通い」「泊り」が利用できる小規模多機能型居宅介護施設を利用開始。



社会参加活動～広がる社会参加の輪～

奉優会では地域の交流の架け橋となるべく様々なイベントを開催しております。皆さまの社会参加を支援し、地域の活性化に寄与します。

■ 老人ホームで市場を開催

開催場所：特別養護老人ホーム奉優の家



足立区佐野にある「For You cafe(フォーユーカフェ)」。ここは奉優会の運営するカフェで、特別養護老人ホーム奉優の家に併設されています。ここでは毎月第2日曜日に「さのマルシェ」を開催しています。これは地域の方やお店が集まり、ハンドメイド品、食品などいろいろなモノを販売していただき、お客様に楽しんでいただくイベントです。

「さのマルシェ」には地元農家の新鮮野菜なども並びます。出店料は無料。職員のWさんは「さのマルシェを通じて、販売店に足を運んでいただけるようになったり、お店と店が交流したりと、地域の活性化のためになれば」と意気込みを語ります。

足立区の
地域活性化の為に
日々頑張っ
ております！



木村 剛さん

■ アロマハンドトリートメントを開催

開催場所：目黒区高齢者センター



平成23年から始まった活動も5年目となり、毎月1回の活動のほか、地域のイベントにも参加するなど目黒区全体での活躍の場が増えています。ボランティアの皆様の手技により利用者の皆様との交流やリラクゼーション、リフレッシュの場になっています。

今年の一月から講習を受講し、ボランティア活動を始めました。皆様から色々なお話を聞いたり、マッサージをして喜んでいただけると、こちらまで元気をもらえるので、これからも続けていきたいと思っています。



中原 初枝さん



社会福祉法人が主導するボランティアマッチングシステム

奉優会ではボランティアを「したい」側と「してほしい」側とを結び、画期的なコーディネートサイト「YELL(エール)」を開設しています。このサイトではボランティアの意欲を持つ団体や個人と、またそれを受け入れる側である施設等がそれぞれに内容や条件を提示し、さらにその結び付けも行なっています。ニーズを的確に結び付けることで社会貢献への意欲を後押しするこのシステムを活用し、社会参加の積極的に行なわれるより活発な社会の実現を目指します。



シニア向けボランティア
コーディネートサイト
YELL (β版)
エール



<https://www.foryou-yell.net/>